

代 表 者
中 田

研 修 報 告 書

令和 4 年 1 1 月 2 1 日

各 会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 小田 晃士朗

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和 4 年 1 1 月 1 4 日 (月) , 1 5 日 (火)

2. 研修項目

全国若手議員の会 全国研修会@関西ブロック

3. 参加議員

小田 晃士朗

4. 随行者

なし

【大阪府大阪市北区の研修センターにおいて大きく2項目研修を受講した】

■研修項目

ネット選挙について

・研修対応者

<第1部>

テーマ：「政を祭りに！エンタメ×民間の力で社会課題を解決する」

講師：一般社団法人UMF 代表 高村治輝氏

<第2部>

テーマ：「若手議員のネット活用事例」

講師：全国若手議員の会 有志5名

和歌山県上富田町 正垣耕平議員

新潟県長岡市 荒木法子議員

滋賀県湖南市議会 中土翔太議員

茨城県つくば市議会 小村政文議員

宮崎県宮崎市議会 山口俊哉議員

<第3部>

テーマ：「若手議員だからこそできる！ネット活用のイロハ」

講師：参議院議員 山田太郎氏

・研修期日

令和4年11月14日（火）午後14時00分～午後16時30分

【研修目的】

若者の投票率を高めるための調査研究

【研修内容】

<第1部>

○一般社団法人UMFについて

名称：一般社団法人UMF（英表記：UMF Association）

所在地：〒554-0012 大阪府大阪市此花区西九条1-10-18 FamHaus

設立：2019年10月

代表理事：高村治輝

若者の投票率が低いという社会課題をエンターテインメントで解決できないかと活動している。「政（まつりごと）を祭（まつり）に」をキャッチフレーズに、「選挙の投票を行うと無料で楽しめる音楽フェス」を2019年4月の統一地方選挙に合わせて大阪で開催。公職選挙法を遵守し、政党や政治家（候補者

含む)、政治団体の応援・批判を目的にすることなく、政治的中立な立場から事業を行っています。

○事業の仕組み

若者の投票率を上げるため、音楽フェスを開催。直近でいうと2022年7月10日参議院議員選挙に合わせて「マツリゴト JAPAN2022」を開催。この仕組みとして、投票証明書や投票所にて写真を撮り、その写真を会社の公式LINEアカウントに投稿することで、当音楽フェスに入場できるというもの。

また、その上記のような投票証明をすることで、各種サービスを受けることができる仕組みも構築。現在全国で約250店舗の協力を得ている。例えば飲食店において飲み物無料、エステ30分無料、大手カラオケ店ジョイサウンドでは3か月何度訪れても30%オフなどのサービス。

○その他投票率向上の政策例

- ・イギリス：ナショナルシティズンサービス。1か月インターン行政に。地域課題観察、解決
- ・スウェーデン：全1629小中校 模擬投票
- ・Say yes ヨーロッパ：サッカー更衣室など特別な場所へ赴き投票 13%アップ

【質疑応答】

○有権者が政策を見ず、決めてしまわないか？

ポータルマッチングや討論会など、連携して発信している。

LINEアカウント登録者にこういった政策比較表あるよといったツールを送ったりする。公平のため偏った政策論にいかないようにしている。ガーシーが勝ったの衝撃だったが、フォロワー数が多い人が必ず勝つとは限らない。しっかりとした情報提供が大切である。

○参画企業は費用必ずかかる？

提携店に関してはお金の発生はしない。ハイボールの原価、手間などのサービス提供をどうするかです。北九州だったら大学生、若手経営者などから何かできないかと相談を受ける。イベントつくるプロでもあるので、コンテンツの作り方などアドバイスしている。気軽に声かけてほしい。

○資金面について、企業名などいれると偏らないか？

スポンサーのためにやるのが第一。しかし、政治的なものを第一にしている。一般社団法人非営利型でやっている。実際に議員の売り込みなどあるがもちろん断っている。社会貢献企業がより儲かっている状態がいい。CSR等スポンサー目線も忘れない。

<第2部>

○各議員より説明

- ・和歌山県上富田町 正垣耕平議員

週1回「#週刊正ココ」として動画をアップしている。再生回数は少ないけど、動画している人ですよ、こういう話していたよね。と周りから言われるようになった。知ってもらえること、強みというかありがたさを感じている。

- ・新潟県長岡市 荒木法子議員

インスタ、Facebook、LINEをメイン。

インスタ フォロワー2500人程に到達。目標として毎日投稿している。

DMで年間230件の要望を頂くようになりました。

選挙期間中、5万でマーケティングを請け負う知り合いもいる。

成績：5933票 トップ当選の実績

- ・滋賀県湖南市議会 中土翔太議員

ホワイトボード ワクワクするまちを書いてもらう

インスタで100人

18:30まで

支援者よんでワクワクライブ

トップ当選 1850

出演者も視聴者も双方向で峠締めるコンテンツ

ライトな感じで、関わりしろ。

- ・茨城県つくば市議会 小村政文議員

夕方SNSみる時間帯に集中的に広報。その他はメガホン片手で路上で一人で叫んでいた。「勝手につくば大使」という名前で立候補し、多くの有権者の目に留まった。一人一人登録をお願いした。9割お店情報、1割自分のことを発信。SNSはいいツール。しかし同時に続ける覚悟が必要。

Twitter 約5000人

Facebook 約2000人

Instagram 約2000人

- ・宮崎県宮崎市議会 山口俊哉議員

宮崎市議会 まちだん DXプロジェクト

議会と市民が双方向にやりとりするプラットフォームを民間企業とつくっている。議会の情報配信を充実させ市民の関心をできる。若手議員の優位性が勝手に先行し、頑張っているなといわれる。日経新聞「地方議会のススメ」にも掲載。議会を巻き込み、DXという名前をつけることでメディアが取り上げることができる。

<第3部>

○研修概要

参議院議員山田太郎代議士の選挙経験談をもとに、ネット選挙の有効性を学ぶ。現在のメディア情報から、SNS 利用者の分布などのマーケティングの話から、実際にツールとして Facebook、Twitter のアルゴリズムを踏まえた効果的な利用方法、動画制作、またそれらを運営するにあたっての対応方法や心構えなどの考え方を学ぶ

○ネットによる伝達のポイント

- ・視覚効果で疑似体験を増やす (SNS で参加しているイメージ)
- ・SNS は、写真かインフォグラフィック+3 行程度の文章
- ・「××だと思いませんか？」と問い掛け分にする
- ・握手している写真、街宣写真を拡散、地元の有名な場所を拡散 (疑似体験)
- ・発信のネタ本を作成しておく (ネットは仕掛けるもの)
- ・マルチメディア (紹介、街宣、ポスター、SNS、ビラ、新聞雑誌、テレビ) の 3 回の法則

SNS への対応

- ・自慢はしない、あくまでも他人からの評価、口コミ (最低でも秘書です…)
- ・サイレントマジョリティーを信じる (悪口は、ほんの少し。フォロワー数確認)
- ・ネガティブな発言は避ける。ポジティブに。悪口は悪口で返される!
- ・相手への悪口は、拡散する以上、逆に相手への宣伝にしかならない
- ・炎上は、一つのネット上での効果だと割りきる

○大切な事

「何を継続して伝え、共感をえるか。」量から質へと変わりつつあり、熱量をもって伝えることで、相手が拡散したくなる、そういった記事内容 (見せ方) が必要。何をテーマにするかも大切であり、自分は誰にも負けない分野 (クラウド) をつくる。そのカテゴリで 1 位かどうかもちょうど大切になってくる。それが自分のブランドとなって多くの有権者に伝わることになる。

【質疑応答】

○動画作っているが支援者しかまわらない。外に出るためどうすればいいか?

違うテーマもやりながら、支援者に拡散のお願いをする。重要・拡散希望などの表現も有効。使いすぎもダメ。いずれにしても応援者を巻き込んで、他にシェアしてもらおう。2 分以内に動画を作成。サムネイルの力、クリックしたくなるようなもの。

○時代がかわり色々ツールが変化する。何をすればいいか?

選挙組立は今も変わらない。どうやって、何がいいかの話になるが、どういうコンテンツがその地域で受けるのか、何が興味あるのか。自分は秋葉原に6時間同じ場所にする。これはなぜかという点で、今候補者がどこにいるかわかるようにする。必ず行けば会える。ハウでなくワイをしっかりと考えることが大切。デジタル防災、子ども政策、とか分かりやすく伝えるのもいいかもしれません。

その地域の課題をしっかりと知り、濃縮した上で色々な動画で発信する。何を訴えるかコンテンツが大切。エゴサを必ずして、ネットに存在があるか確認する。

○プライベートの内容はいいが、選挙記事は反応が落ちるどうすればいいか？

票につながったのが何か、が大切。政治家である限り政策やオモイを訴え続けないといけない。かたい話ばかりではその人のパーソナルも知れない。答えはないけど、なんで票を入れるのか、どうしてその人を応援する気になるのか。

○ブロックする線引きは？

自分は全部ブロックしない。急にブロックするとこの人は声を聞かない人だとさらに言われる。たとえばプロフにブロックするとかく。何かの理由（ポリシー）をつけることが大切。

○どの人のブログ、またはHPがいいとおもいますか？

河野太郎さんがすごいと言われているが、票につながっているかわからない。エゴサでベンチマークしている人がいる。N国をみたり、神谷宗平さんの三政党、山本太郎さんもみている。一挙手一投足で出ている人はネットメディアがうまい。共通点は受け皿になっている。NHKのようなものが嫌な人、自民党が嫌いな人、保守系だけど自民党や公明党が信じられない。その受け皿となったとき爆発的に飛躍する。自分たちの漫画アニメが壊される。それはだめだ。課題、やるせなさ、など自分が代表してそれを受けられるか。サイボウズのHPを参考にしている。LPがうまい。

【呉市での展開の可能性】

呉市だけの課題ではありませんが、若者の投票率低下は問題である。その解決として、「投票行動のきっかけをつくる」方法として、投票とエンターテインメントを掛け合わせることは一つの有効的な手段であるとおもう。一方で、政策を見ず、人気だけ目立った人だけが当選するといったことにならないよう、きっかけづくりと同時に、若者へしっかりと政策が届くような仕組みが必要である。

その仕組みではありませんが、後半、地方議員から国会議員の方から、実際の自分の広報広聴の方法や、議会としての広報公聴の話をきき、双方向のコミュニケーションツールとして、発信だけでなく、情報を共有することが大切であると感じた。多くの方がスマホを持っている時代、SNSへのアプローチは欠かせない。

■研修項目 2

官民連携・市民共創のまちづくりについて

・研修対応者

テーマ：官民連携・市民共創のまちづくり

～民間と組みやすい市役所が地域を変える！～

講師：泉大津市長 南出賢一氏

・研修期日

令和4年11月14日（火）午後16時45分～午後18時00分

【研修目的】

官民連携について首長の考え方について知見を得ること。

【研修内容】

○アビリティタウン構想

- ・ 論語とそろばん 経世済民 しほうよし 地球環境を加える
- ・ 自分の体は自分でケアする整える
- ・ 多様な主体がつかいこなせる空間づくり
- ・ 課題解決の選択肢を増やす
- ・ 東洋文明と西洋文明の融合

○リーディング事業

<防災について>

- ・ 吉野家と防災連携協定。食料供給など。
- ・ ホームセンター駐車場、住友ゴムの体育館を借りるなどの民間提携
- ・ 女性の視点をいれると、全く足りていない。生理用品をトイレットペーパーと同様の間隔で置こうとプロジェクトを立ち上げ全女性のトイレにやっている。市役所など公共施設。50-70万つかう。支えられる社会へ

<康力向上プロジェクト>

要介護1など増えていることを背景に、「あしゆびプロジェクト」をはじめた。日本人の足みな浮指、外反母趾、扁平足。接地面が小さいと運動神経よくない。筋力落ちてくる。土台大事。足部の3D計測と動作解析を行い、個人にあったオーダーメイドインソールをつくる

<泉大津市レシート大作戦地元でGOTO>

2022年9月1日(木)から2022年11月30日(水)までのレシートが対象で、魅力発見マップ・ホームページに掲載されているお店の消費レシートまたは領収書を異なる3店舗以上、合計3,000円(税込)以上を集め、それを専用の台紙に添付し

て泉大津商工会議所へ郵送して応募すると、抽選で800名に5,000円分の魅力発見マップ・ホームページに掲載されている店舗で使用できる商品券が当たる。応募の締切は2022年12月1日(木)まで。

<コロナ対応>

現代医学も必要だが、フェーズによって食生活や養生、伝統医学の活用など組み合わせるのがいいのではないかという考え方を打ち出している。

- ・事前のオンライン相談。漢方やヨガ、統合医療の知見を持った医師9名
- ・後遺症改善プログラムの実施

ワクチン副反応事例沢山ある。上記効果が出ているため、全国から泉大津市にくる。

<まちづくり人材育成拠点>

シープラという図書館を駅前につくった。9つのマーケティングデータを無料でとることができる。年間35万人が利用する。年間300イベント以上。ミーティングやったり勉強やったり起業家育てる取組。

廃れる商店街であったが、オーナープレイヤーがかわり投資する価値観がかわった。新しいサービスや商品なども生まれているため、行政の刺激で民間も動くようになる実感した。

<シーパsparkの整備（湾岸エリア：泉大津フェニックス）>

住宅にしたらまちの価値が上がらない。

泉大津市に住みたくない理由1位緑が少ない・公園が少ないであった。そのためこのエリアを令和5年度に都市計画公園『シーパspark』及び隣接する市有地である民間活用用地（『シーパspark広場』）をあわせた『シーパspark』エリアとして開設することにした。

本エリアのあり方については、官民連携・市民共創により、まち全体の魅力向上と都市ブランド「アビリティタウン（能力・技量・才能を伸ばす都市ブランドのこと）」の形成を先導する場とし、さらに、市街地の中でもより“みどり”を感じることでできるヘルシーパークとして整備することを目的としており、また、開園後については本エリアの一体かつ継続的な運用を図り、民間資金・経営能力・技術的能力の活用を図る公民連携事業として、効果的・効率的に推進されることを目指している。

土地開発公社へ毎年3億投資して買い戻した。国庫補助などでペイできる。公園に見えるが一部公園のあみかけていない。都市公園のあみかけると建物たてられない。民間活用用地とした。プロポーサルで指定管理決めました。民間活用用地へ民間完全投資で、市のビジョンにそって。ある一定割合は市に対して還元する。

<教育環境について>

オーガニック給食目指している。子どもの一食と大人の一食は違う。バターマーガリンなど。月二回オーガニック給食を提供。内容は米とみその原料をオーガニックにしている。小学校から中学校で米10トン使う。300円/食程度。コンクリートジャングルである泉大津市では米をつくる場所がないので、近郊の和歌山県橋本市に1食800円を上限に生産をお願いしている。直接、市とやりとりするので、安心して作れる、所得が上がる（実際に上がった）。かつ、からだにいいし、環境にもいい。

【質疑応答】

○事業実行しながら財政調整基金をどうやって増やしたのか？

交付金を取りに行くということやってない。事業進めながら財政課題解決しながら、次の事業をやる。病院9億の繰り入れを毎年する。今は15億繰り入れする。毎年一定額に。ふるさと納税などの小さな歳入も大切に。

○公平性について苦勞された点は？

包括連携協定をむすぶところからはじまる。市にとって意義があるかどうか。実証実験を行うフェーズにいき、プロポーサルをうっていく。議会も理解いただき、どんどんやろうと応援してくれている。

○オーガニック給食などコストがかかる、材料確保が難しいという冷淡な答えが多い。大変な政策だけど市役所、議会をどうまとめたのか？

何が問題なのか、勉強を重ねる。管理栄養士、現場の小中学校。食事をしながら意見交換もした。また、議員の皆さんとも膝を付け合わせ理解してもらおうよう、根気強く説明する。オーガニックをはじめるコツは薬物など安定しないので、主食からまずすることをおすすめします。米、みそ、などやりやすい。主食は毎日食べるものである。

【呉市での可能性】

民間の活力を活かしたまちづくりが大切であることを改めて実感した。行政ではないノウハウや知見を活かし、本市においても公共空間や遊休不動産を活用していくべきである。また、女性の生理用品の対応など工夫をすれば本市でもマッチする可能性がある。オーガニック給食についても学ぶべきことが多かった。現在中学校への給食体制を目指している中、今後になってくるとおもうが、未来の子どもたちのため検討する必要がある。

【大阪府咲洲庁舎にて2つの研修を受講】

■研修項目

大阪・関西万博概要、施設概要について

・研修対応者

博覧会協会 地域・観光部 審議役兼観光推進課長 森栄子氏

・研修期日

令和4年11月15日（火）午前9時30分～午前10時50分

【研修目的】

大阪万博の地方への影響について調査

【研修内容】

○博覧会とオリンピックパラリンピックの違い

担当大臣を置いて、国が主催するかどうか。東京オリンピックパラリンピックは民間企業と東京都。条約にもとづいて、国際博覧会事務局の元国が開催する。そのため、国家として万博を開催する価値があるか、未来戦略として検討した結果開催するかどうか。2025年万博は半年のイベントでなく、開催前から開催後も含め国の未来戦略である。5年に1度大きい博覧会がある。沢山の国が手を挙げる。

○概要

- ・博覧会協会 約500人弱の組織。
法律に基づき、協会をつくる、3年国が運営できないから。
- ・メイン会場：夢洲（人工島） 350ha
- ・来場者予測：150か国、2820万人 毎日15万人がくる計算
その会場全体がその国の日になる。毎日がお祭り体験する特別な期間。
ICTの取組、8つのテーマでわけて表現する

○地域との関わり

- ・地域ツーリズム促進事業
万博と観光を結び付けたモデルをつくる。
- ・修学旅行受入れ
子ども達へ与える影響がでかい。
- ・地方公務員（職員）の出向
こういった国家プロジェクトに参画できる経験はない

参考資料※P36 催事参加 ※P41 チームエクスポ2025

○資料

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）概要・参加説明資料

【質疑応答】

○万博終わった後、どうなるの？

持続可能性部の専門のセクションをおいて検討している。今後のイベントなどの先導事例になるようになればとおもう。万博がおわったあとどうなるか。実証実験のため撤去する前提。3Rができるように並行して考えていく。太陽の塔も撤去の予定だったがそれは残すことになった歴史もあり、適宜検討する。万博理念にもとづいて3Rをベースに考えている。

○人材育成について、どういう人がいるのか？

様々な部署がある（P7）。自治体のご要望を聞き、配属する。

都道府県だけでなく、市町単位でもきている。総務部でも窓口あるので問い合わせしてほしい。

○修学旅行はいつがいい？

最初が少なく、夏休みから会場混雑する。過去の実例。いまそれを平準化しようとしている。入場券制度など検討中。子ども達にとっては4、5、6月前半にお越しただけたらとおもっています。

○大阪以外の機運の醸成は？

一過性のイベントでない。万博を活用して地域の人を教育する、旗頭として取り組んでいく。会期前になれば、やる気ある地域が目立ってくる。万博を通じて発信する。これはツール。会場との関わりをもってもらい、自分たちの万博だとしてもらう。地域の流れをつくる。

○万博の開催期間中、地方へ移動を活性化するため交通インフラの助成はあるか？

万博そのものは一時的なイベントであるため、特に考えていない。アドベンチャーツーリズムなど北海道にしかできないこと。新しい連携をしてもらって、新しい客層を呼び込む。地域に提案し、観光広域事業者と連携しているのでサポートする。アクセスの増強は事業者になるのでなんともいえないが、マイル券を購入しようと思った際、ご覧できるようにする。来場をするインバウンドにアプローチできるようなしかけは協会でも作ろうとおもう。

【呉市での展開の可能性】

大阪や関西圏だけのことではなく、日本全体の国家プロジェクトとしての気概をもって臨む姿に、協議会の強いおmoiを感じる。本市においては、地域を世界にPRできるツールとなりえること、人材育成の観点から協議会へ職員派遣も可能であること、そして、最先端の技術を学ぶことができるので修学旅行などで、小さい

ころからそういったテクノロジーに触れさせる機会を設けることなど、影響があるのではないか。

■研修項目 2

大阪のスーパーシティに関する取組みについて

・研修対応者

大阪府 スマートシティ戦略部 特区推進課 課長 宮田昌氏

・研修期日

令和4年11月15日（火）午前11時00分～午前12時00分

【研修目的】

スマートシティの最新の取組を学ぶため

【研修内容】

○大阪府・大阪市のスーパーシティの取組みについて

大阪府は、大阪市とともに、複数分野の先端的サービスの提供と大胆な規制改革等によって、世界に先駆けて未来の生活を先行実現する「まるごと未来都市」であるスーパーシティの実現をめざしている。関西経済の中心エリアに位置する「うめきた2期地区」、大阪・関西万博が開催される「夢洲地区」という、グリーンフィールドにおいて、大阪にしかできない取組みや、新しい技術を生み出すことで将来の社会が大きく変わる、イノベーションにつながる取組みを進めている。なお、本取組みにおける住民等の個人情報の取扱いについては、大阪府個人情報保護条例の遵守を前提としている。

区域指定まで1年半かかった。（現在この区域指定は大阪市、つくば市）

○オーデンとは

大阪のスーパーシティで先駆けた先端的サービスの成果を府域全体へ展開する仕組みとして、現在、「大阪広域データ連携基盤（ORDEN）」を構築中である。公民の様々なデータ連携・流通を促進し、住民の利便性向上に資するサービスを創出していく。将来的には、他の都市のデータ連携基盤と接続し、同様のサービス展開可能とする等、全国都市のデジタル化と課題解決をリードしていく。

○資料

大阪スーパーシティ構想～2025 大阪・関西万博と万博後を見据えて～

【質疑応答】

○民間事業者の目利きはどのようにしているか？

商工労働部が空飛ぶ自動車を決めるなど、各セクションがきめる。担当部局またほかの主体がきめる。オールデン開発をしデータ連携しようとしているが、私たちだけの視点ではダメなので、専門家の知見を頂きすすめていく。

【呉市での展開の可能性】

大阪・関西万博のグリーンフィールドを活用した実証実験など、本市と違った環境もあるので、全てががちするわけではないが、本市においてもスマートモビリティの実証実験など行っている。当事例でいうと、「レベル4相当の自動運転」など呉駅周辺地域総合開発と類似する。ここの運用が万博ないでどう展開されているかなどは、研究するところである。また、オープンデータの構築、それを民間と連携し活用することで、我々の生活はより豊かになると思います。オールデンの運用についても本市に役立つ事例ではないだろうか。